



～2024-25年度主題～

国際会長 シナヴァスカーン (インド) “Together for better world”
 アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウオン (香港) “Make a Great Impact”
 東日本区理事 山田公平 (宇都宮C) “Our Future Direction”
 湘南・沖縄部長 久保勝昭 (横浜つるみC) “共に出会い、共に喜びを！”
 クラブ会長 鈴木 茂 “受けるよりも、与えるは幸いなり”

～今年度クラブ役員～

会長 鈴木 茂
 副会長 坂口 直樹
 書記 大野 君枝
 会計 鈴木 恭子
 直前会長 今城 高之
 監事 辻 剛

今月の聖句

『平和があるように』と
 あいさつしなさい。

マタイによる福音書 10章12節

《巻頭メッセージ》 別れと出会い II 山添 訓

例年、この時期は、別れという寂しい気持ちになることと、4月からの新しい出会いに向けた準備をしながら、ワクワクする気持ちが入り混じる何とも言えない感情があります。また、イースターを迎えるレントの中、イエスさまが十字架にかかってくださったことを覚えながら生活する日々です。



昨年、12月に母が91歳の人生の終わりを迎えました。最後の3年ほどは、ほぼ寝たきりとなり、会話も一方通行でしたが、話しかけると目を動かして聞こえていると受け取れるような、そんな状態でした。ご存じの方も多いですが、私の家族は7人の兄弟姉妹の9人家族でした。一番上と一番下が11歳離れておりますが、上4人が年子、下2人も年子でした。もちろん母がすべての育児をしてきたということではありませんが、それぞれが健康に支えられて、現在も過ごせているのは、母のおかげと感謝をしております。母の思い出は、兄弟姉妹が多かったこともあり、常に育児に教会の御用に忙しんでいる姿です。普段の生活や勉強のことなどは、子どもの自主性を尊重してくれておりましたが、教会生活については、厳しく言われたことを覚えております。母親自身も社会人の時に神様と出会ったのですが、その時代は、会社の慰安旅行などは、土日で計画されていたそうですが、参加はするのですが、日曜日の礼拝に出席するために旅行先から、礼拝に間に合うように帰ってきたという話を亡くなったあとに聞かされました。まだまだ信仰の弱い自分ですが、母に教えられたように信仰生活を大切にしていかなければと思いました。

今年度も残りわずかとなりました。自分に取っては、別れですが、その人にとっては新しい歩の始まりでもあり、そのお一人おひとりの歩みに、神様のお守りとお導きがあることを祈りたいと思います。

今日も命を与えられ生活し働くことができていることに感謝をしております。世界に目を向け、日本においても紛争や自然災害、感染症など困難な中にあり、生きることに希望が持たなくなっている人たちがおり、平和な社会とは言えない現状です。1日でも早く平安な時が訪れるように祈ります。

最後に聖書の言葉を添えて終わります。

「父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります。」
 ヨハネによる福音書17章21節

3月の本例会

日時 3月28日 (金) 17:30～

場所 かけはし都筑

司会 坂口直樹

受付・記録 今城高之

=プログラム=

- 1.開会点鐘 会長
- 2.ワイズソング・信条唱和 一同
- 3.今月の聖句と祈禱 担当主事
- 4.ゲスト・ビジター紹介
- 5.会長挨拶
- 6.卓話 山本俊正さん
日本YMCA同盟会長
- テーマ：YMCAのあるべき姿とは
ービジョン2030
- 7.行事予定等
- 8.活動報告
 - 1) 東日本区
 - 2) 湘南・沖縄部
 - 3) つづきクラブ
- 9.YMCA報告
- 10.Happy Birthday
- 11.スマイル・アピール
- 12閉会点鐘 会長

※閉会后、ヴァンサンで会食

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

例会報告

2025年2月度本例会

坂口直樹 記

日時：2月28日（金）17:30-19:00

場所：かけはし都筑

出席者：辻 T・Ta、今城H、鈴木S・K、森山、三木、
岡田、坂口（9名）

ゲスト・ビジター：兵藤芳朗（鎌倉ク）

千葉裕子（鎌倉ク）、板崎淑子（鎌倉ク）

小松仲史（大和ク）、徳澤洋子（厚木ク）

司会：岡田美和 受付・記録：坂口直樹

=次第=

1. 開会点鐘 鈴木会長
2. ワイズソング・ワイズの信条唱和 一同
3. 今月の聖句と祈禱 森山担当主事
聖句：平和をつくり出す人たちは、さいわいである。彼らは神の子とよばれるであろう。（マタイ 5-9）
併せて今月のピンクシャツデーの主旨について説明をいただいた：毎年2月の第4水曜に、ピンク色を身につけて、お互いを認め合い、いじめの起きない社会づくりを共に呼びかける、カナダで始まった運動。
4. 会長挨拶
・暖かい気候が見え始め春を迎える。
・月初に体調を崩された今城Tワイズの早期のご回復を祈る。
・ゲストご紹介：本日卓話者の兵藤ワイズ（鎌倉ク）の略歴、特に鎌倉市行政、社会福祉事業そして環境保全などボランティア活動等幅広いご貢献についてご紹介があった
5. 卓話：兵藤芳朗氏 次期湘南・沖縄部長
テーマ「鎌倉市の紹介を鎌倉のみどりの歴史」
長年携わる、鎌倉風致保存会*の活動を中心に、鎌倉市のみどりの減少とそれを守る市民の活動など、鎌倉市民の地域の自然を守るボランティア活動の様子を紹介。また、鎌倉の歴史の観光資源としての魅力について多くの写真で

ご紹介いただいた。鎌倉市民の環境保護に対する熱意と努力を重ねてきた活動を理解し、市民が自ら地域の自然環境を守ることの重要性を痛感した。

*）鎌倉の豊かな自然と文化財を後世に伝えることを目的に1964年（昭和39年）12月に設立された日本最初のナショナルトラスト団体です。

6. 今後の行事予定について

- ・3/4（火）：Y-Y's協議会、中央YMCA、19:00～
- ・3/8（土）・9日（日）：次期会長・部役員研修会、@東山荘 坂口直樹次期会長出席
- ・3/11（火）：3月事務例会・夢カフェ、17:00～
- ・3/19（水）・4月16日（水）：TKB、@夢カフェ
- ・3/28（金）：3月本例会 @かけはし都筑
17:30～卓話・山本俊正・日本YMCA同盟会長、
テーマ「YMCAのあるべき姿とはービジョン2030」。
- ・5/10（土）：北YMCA・ワイズ交流会@はなの舞
- ・5/16-17（金・土）：富士山例会 @GEV
- ・6/7（土）：第28回東日本区大会：@宇都宮
- ・8/1-3（金・日）第31回アジア太平洋地域大会、
@熊本

7. 活動報告

1)湘南・沖縄部

・4月26日(土) 湘南・沖縄部懇親会
@YMCA三浦エコビレッジの件

各クラブ担当者選出し詳細企画検討する。

2)つづきクラブ

・辻監事より、絵本読み聞かせボランティアについて

8. Happy Birthday

山添 訓2/17、徳澤洋子（厚木ク）

9. スマイル・アピール等 ゲスト各位からの一言を頂いた。

10. 閉会点鐘

※懇親会食 ヴァンサンにて会食懇親会を開催



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

例会報告

2025年3月度事務例会

大野 君枝 記

日時 3月11日(火) 17:00~

場所 夢Café

= 議事概要 =

1. 開会点鐘

2. 会長挨拶

本日は、14年前に東日本大震災発災の日、22,000を超える死者、行方不明者を偲び、ご家族の悲しみを覚えよう。

3. 協議事項

①富士山例会について(5/16-17)

②北Y交流会について

③湘南・沖縄部合同懇親会について

④第28回東日本区大会(5/10 @宇都宮)について

⑤第31回アジア太平洋地域大会(8/1-3 @熊本)について

4. 今後の行事予定

●4月巻頭言:ロブ・エスキルドセン

●3/19: 4/16, 5/21各水曜日: TKB

●3/28(金): 3月本例会

@かけはし都筑 17:30~

卓話: 山本俊正 日本YMCA同盟会長

テーマ: YMCAのあるべき姿とは—ビジョン2030

懇親会: ヴァンサン

●4/8(火): 4月度事務例会 @夢Café
17:00~●4/25(金): 4月本例会 @かけはし都筑
17:30~

卓話: 山口直樹 東日本区書記

テーマ: 老人ホームで学んだこと

●5/13(火): 5月事務例会 @夢Café
17:00~

5. 報告事項

①東日本区より

東山荘にて開催された次期会長・役員研修会には72名が参加。次年度の方針、会員数の課題、ファンディングの必要性などが話し合われた。また、今後ともユース活動に協力して、YMCAと共に各クラブの繋がりをより大切にする事が強調された。つづきクラブより、坂口次期クラブ会長が出席。

①つづきクラブより

辻ワイズより、毎月誕生カードを送っている宮城県山元町の「みやま荘」、「つばめの杜保育所」よりお便りがあったとの報告があった。(別途掲載)

各イベントへの参加促進、You&Iコンサート会場申し込みについて話し合った。

(以上)

お便り

東日本大震災から14年となりますが、つづきクラブがでは震災後、仙台YMCAのご紹介により、津波被害の大きかった宮城県山元町の高齢者施設「みやま荘」と「つばめの杜保育所」を定期的に慰問してきました。訪問はコロナ禍で途絶えましたが、両施設には毎月手作りの誕生日カードお送りしています。クラブで本件を担当する辻 剛ワイズが両施設にお送りした書簡に対して「みやま荘」からご返事があったので誌上でご紹介します。

横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ 辻 剛 様

おはようございます。心温まるお言葉ありがとうございます。毎月、皆様から贈って頂く「お誕生カード」を見ると心が癒されます。施設のご利用者様もとても楽しみにしていて、感謝しかありません。

あの日から14年、14年は長いような短いような・・・

私にとってはあつという間だったなあと感じています。

この日が近づくとあの時の事を思い出さずにはいられなくなります。大船渡の火災は「なんで！また！こんなことに！」という感じで早く鎮火することだけ祈っていました。被災した皆様の事を思うと胸が痛みます。

クラブメンバーの皆様もいろいろあったんですね。

辻様も週に3回の透析は大変ですね。

お身体には十分気をつけてくださいね。

ちなみに、みやま荘では今コロナの感染者が増えている状

況になっています。

5類になっているので騒ぎにはなりません、地域でも一年を通してポツリポツリと感染者の話を聞きます。今回は一人感染を確認したら食席が一緒だった方に感染、その後、同室の方に感染となかなか止まらない状況です。

コロナも重度化する人は少ないものの、高齢者は肺炎になる可能性も高いので気が抜けません。

今日は山元町でも、慰霊碑の前でボランティアの方々が鎮魂のセレモニーを行うようですし、静和会でも静和会の慰霊碑に職員がお参りするようになっています。クラブの皆様のご健康とご活躍を職員一同願っておりますので、皆様によりしくお伝えください。メールありがとうございました。

特別養護老人ホームみやま荘

園長 伊藤

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

会 議 報 告

第105回Y-Y's協議会 報告

鈴木 茂 記

開催日時：2025年3月4日（火）19:00-20:30
 会場：横浜中央YMCA 608室+Zoom
 担当クラブ：横浜クラブ
 出席者：18名

当クラブ出席者：森山担当主事、鈴木S、辻Tsu

【 概 要 】

1. 開会礼拝：立花明美・横浜クラブ担当主事による司会・聖書朗読、古田横浜クラブ会長による祈禱。
2. 挨拶：中台 厚・横浜YMCA副総主事による佐竹総主事メッセージの代読（佐竹総主事は、東日本総主事会議のため欠席）：横浜YMCAは、2034年の創立150周年に向けた記念事業の計画に取り組む。2025年度の湘南・沖縄部、各クラブの担当主事は次の通り。部・森山、横浜・菅原、鎌倉・藤沢（継続）、厚木・加藤、金沢八景・雲走（継続）、つづき・森山（継続）、つるみ・石川、大和・島田。
 久保勝昭・湘南沖縄部長：2月8日（土）に板崎・鎌倉クラブ会長によるヘルマンハープ演奏会を兼ねた鎌倉クラブの例会に出席し、これで部長によるクラブ訪問はすべて完了した。
3. 協議 司会：古田・横浜クラブ会長
 1. 国際・地域協力募金について。
 柳原絵里子担当者（Zoom）より、標記募金に関し、目標8,000千円に対し、2月末実績は6,415千円、達成率80.2%との説明があり、残り1か月間の募金協力への依頼があった。これに

対し横浜北YMCAから、3月16日（日）に新横浜駅前における街頭募金の計画がある等の回答があった。この他、プロテクト ア チャイルド募金、能登半島地震・洪水支援募金、ウクライナ支援募金等の実績報告とさらなる協力依頼があった。

4. 報告

- ① 会員大会・ピースフォーラム実施報告：阿部正伴・部担当主事より、さる2月11日（火・休）、とつかYMCAで開催された標記ピースフォーラムに関し、絵本作家・浜田桂子氏による「絵本に学ぶへいわってどんなこと」と題する特別講演が好評であったこと、参加者は会場150名、オンライン62名、合計212名の大勢に達したとの報告があった。
- ② こども支援（BAPY）基金のためのチャリティーゴルフ：森山真治・BAPY担当主事より、3月7日、戸塚カントリークラブで開催される予定の標記チャリティーゴルフに関し、参加申し込みが20組80名の定員に達したこと、協賛・寄付申し出の個人・企業・団体が30組に達したことなどについて、報告があった。
- ③ 久保部長より、4/26(金) 三浦YMCAにて部の合同懇親会を開催するとの報告。

5. 各クラブ報告

各クラブ報告において、つづきクラブからは、5月16日・17日（金・土）に開催予定の富士山YMCA例会の案内と参加勧誘を行った。
 次回106回：2025年6月3日（火）
 担当・鎌倉クラブ。 (以上)

T K B 報 告

3月の絵柄は、勿論のことお雛様。
 今月は「みやま荘」、「つばめの杜」両施設合わせて12人分という少なさです。
 普段、パソコンで文字部分を作成しますが、今月は文字担当が緊急入院のため、クラブで一番筆の立つ辻 剛ワイズの手書きという、有難いカードとなりました。
 東日本大震災から14年、当時被災した園児たちも立派な青年となっていることでしょう。立派に育っていることに思いを馳せて。



レントの頃に咲くクリスマスローズをレンテンローズ（Lenten Rose）と呼びます。レントの典礼色が紫なのになぞらえたのでしょうか。

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

北YMCA便り



横 浜YMCAでは、2月27日(木)～28日(金)の1泊2日、三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジにて横浜YMCAリーダー研修会(YLET)を実施しました。YLETは横浜YMCAの各施設で水泳や体操、キャンプのプログラムで活動しているリーダーのための研修会です。開催に向けては、実行委員のリーダーたちが何度も話し合いを行い、どのような研修にするのかを話し合っていました。

今回のYLETは、「新しい自分を見



つけて新たな可能性につなげよう」をテーマに研修を行いました。

総勢42名のユースリーダーや職員が参加し、普段活動をしているYMCAの枠を超えた交流と学びの場となりました。

初日には、「異文化コミュニケーション」をテーマに講演が行われ、「自分を知ること」「他者を理解すること」の大切さについて学びました。その後は、グループに分かれて講演の振り返りを行い、自分自身が考えていることや、YMCAで今後実現したいことなどを話し合いました。リーダーや職員同士の交流を深める貴重な時間となりました。

2日目は、YMCA毎のブロックに分かれ、「自分たちがYMCAで実際に何ができるのか」「リーダーとしての目標」などについて話し合い、付箋や模造紙を使ってまとめを行う作業をしました。

そして、まとめた内容の発表を行い、具体的な行動計画へと繋げました。

今回の研修を通じて、リーダー一人ひとりが「YMCAでできること」や「社会で活かせること」について深く考える機会となったようでした。研修で得た学びや気づきを、普段活動をしているYMCAに持ち帰り、実際の活動に繋げていくことを期待しています。今後も、今回のYLETでの学びを活かし、横浜YMCAのリーダーとしてさらに成長していく姿が見られると嬉しく思います。



速報 ワイズメンズクラブ東日本区 次期会長・部役員研修会 報告 次期クラブ会長 坂口直樹 記

折しも早春の大雪に見舞われた東山荘において3月8日(土)から9日(日)に開催され当クラブから坂口次期会長が参加した。

遠くは北海道はじめ東日本区の次期会長・部役員等総勢72名が参加しワイズメンズクラブの現状課題を共有しあるべき姿に進むアクションプランについて活発な意見交換を行った。

プログラムでは、次期東日本区理事の山下 真(十勝)様はじめキャビネットメンバーから、方針説明、重点施策等が発表された。特に、メンバー数の減少や財政の問題が深刻であり、区としての組織簡素化やファンディング施策の紹介ならびにメンバー増強に対する強いメッセージがあった。湘南・沖縄部からは、兵藤次期部長、佐藤次々期部長、小松次期主査、古賀次期主査、板崎書記、古田次期会計、齋藤次期会長の参加があり、

部ごとディスカッションで、「ワイズとは何か、何をすべきか」「部のあり方と次年度重点方針」等について活発な意見交換を行った。

夜の懇親会では、広く東日本区のいろいろなクラブ関係者との交流ができ、それぞれの地域のそれぞれの現状や課題を共有するとともに人的ネットワークを築くことができ大変充実

した研修でした。



湘南・沖縄部の次期を支える面々。当日、東山荘は雪景色でした。

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

ご 案 内

つづきクラブでは、月一度（第4金曜の夜）の本例会に、様々な講師をお招きして卓話の時を持つよう努力しております。3月、4月は以下の通り卓話を開催しますので、クラブ会員以外の方々でもご関心があれば是非お越し頂きますようご案内申し上げます。また、様々な分野で興味あるお話をお伺いできる方をご存じの際は、是非ご紹介ください。なお、以下の略歴は、各講師より頂いたものをそのまま転載したものです。

《3月本例会》 3月28日（金）17:30開会

講師： 山本俊正（やまもと としまさ）さん
日本YMCA同盟会長

テーマ：『YMCAのあるべき姿とは - ビジョン2030』
～略歴～

1952年、東京生まれ。立教大学法学部卒。東京YMCA主事（1977～85）米国・カリフォルニア州、パークレー太平洋神学校留学（1988年、神学修士）米国・合同メソジスト教会・カリフォルニア／パシフィック年会にて按手（正教師）同教団・年会任命により、ハワイ州、ハリス合同メソジスト教会にて副牧師（1988～1992）同教団派遣宣教師として日本キリスト教協議会（NCC）国際協力担当幹事就任（1993年3月）、第35NCC総会にて総幹事に選出される。（2003年3月）総幹事に再選（2006年3月）NCC総幹事を退任（2008年3月）関西学院大学商学部教授・宗教主事に就任（2008年4月）、同大キリスト教と文化研究

センター長（2017年4月）、院長補佐（2013年4月）、宗教総主事（2019年4月）を歴任。関西学院大学を定年退職（2020年3月）現在、アジア学院理事長（2022年4月～）日本YMCA同盟会長（2023年7月～）
著書：単著「アジア・エキュメニカル運動史」（新教出版）
訳書：「神との冒険－ラクーア自伝」（キリスト新聞社）
共著：「地球のみんなと生きる」（富坂キリスト教センター編、新教出版社）、「イエス・キリストの幸福（さいわい）」（サンパウロ出版）、「ミナト神戸の宗教とコミュニティ」（神戸新聞総合出版センター）、「宗教改革と現代」（新教出版）
監修：「東アジア平和共同体の構築と宗教の役割」（佼成出版）「東北アジア平和共同体構築のための倫理的課題と実践方法」（佼成出版）
編著：「東アジアの平和と和解」（関西学院大学出版会）、等。



《4月本例会》 4月25日（金）17:30開会

講師： 山口直樹さん
東日本区書記

卓話テーマ：『老人ホームで学んだこと』
～略歴～

ワイズ歴

- ◆1997年～宇都宮東クラブ
- ◆2002年～東京武蔵野多摩クラブ

YMCA歴

- ◆1974年 東京YMCA入職・1982年 横浜YMCA(進

学部門菊名校)

- ◆1997年 とちぎYMCAマイホーム
きよはら(特別養護老人ホーム)施設長
- ◆2002年 東京YMCA医療福祉
専門学校(介護福祉士、作業療法士養成校)校長

国立市関係

- ◆介護認定審査会委員、社会福祉協議会監事、教育委員など



(2月のデータ)

| | | | |
|------|-----|--------|-----|
| 例会出席 | 14名 | 在籍会員数 | 16名 |
| メンバー | 9名 | 月間出席者数 | 9名 |
| ビジター | 5名 | メ・キャップ | 1名 |
| ゲスト | 0名 | 月間出席率 | 62% |

| 各種記録 | 2月実績 | 年度累計 |
|------|------|---------|
| スマイル | 0円 | 12,800円 |
| — | — | — |
| — | — | — |

◆気候が定まらず体調を崩している人も多いようだ。皆様ご自愛ください。◆気候異常に温暖化が多いに関わっていることを認めない人たちがいるようだ。大国の為政者だと人類にとって深刻な危機である。目前の戦争、長期的気候変動、全ての対応策を試みてほしい。◆春を迎え、ワイズズの活動も活発になる。通常の例会に加え、北Y交流会、初の部懇親会、クラブの富士山例会、宇都宮での東日本本区大会、熊本でのアジア太平洋地域大会と続く。全てをカバーするのは容易ではない。病み上がり編集子にとっては大きい悩むところ。◆TKB報告にも記載の通り東日本大震災から一四年が経過した。津波の被害が甚大であった山元町の「つばめの杜保育所」の当時の園児たちの中には成人となった人もいよう。癒えることのない傷を負った人たちが夢や希望を持ち続けることができるよう、皆が何ができるか考えてみる時だと思ふ。

(編集子)

…《編集後記》…

“To acknowledge the duty that accompanies every right”